

令和2年度事業計画

社会福祉法人恵泉会

作成：令和2年2月29日

1. 目的

社会福祉法のもと、老人福祉を实践すると共に、介護保険法の指定介護老人福祉施設および、指定居宅事業者として、介護を必要とする高齢者へ各種の介護サービスを提供し、地域の老人福祉に貢献することを目的とする。

2. 基本方針

2-1 以下の事業を行う。

(1) 第一種社会福祉事業（指定介護老人福祉事業）

指定介護老人福祉施設 菊水園

指定地域密着介護老人福祉施設 菊水ビラ

(2) 第二種社会福祉事業（指定居宅サービス事業）

① 短期入所生活介護事業所 菊水園ショートステイセンター

② 通所介護事業所 菊水園デイサービスセンター

③ 地域密着通所介護事業所 菊水神郷デイサービスセンター

④ 予防通所介護事業 菊水神郷デイサービスセンター

2-2 以下の4Sを追求することを基本理念とする。

(1) 利用者満足（高齢者の多彩な要求にこたえる）

(2) 職員満足（働き甲斐、やりがいのある職場とする）

(3) 地域満足（地域の高齢者及び家族が安心して老後を暮せるよう努力する）

(4) 安全（事故のない事業を行う）

3. 法人経営の方針

(1) 理事会の決定に従うとともに関係法令通知の基準に則し、適正な法人経営に努める。

(2) 関係機関との連絡調整に努め、地域社会との協調を図る。

(3) 資産の管理および会計の処理については、定款並びに経理規程に従って適正な管理に努める。

4. 理事会の開催と監事監査、評議員会、評議員選任解任委員会の開催

(1) 理事会を年3回開催する。定期的で開催する時期及び主要議事内容は次のとおりとする。

ただし、臨時に審議を要する事項が発生したときは、臨時理事会を開催し、議案を追加して審議する。

恵泉会

第1回	5月	前年度事業報告および決算報告
第2回	10月	中間概算決算報告、各種規則見直し
第3回	3月	補正予算審議、次年度事業計画および予算

- (2) 5月理事会の前及び県等の監査の前に監事により監査を受ける。
 - ① 理事の業務執行状況
 - ② 法人経営状況
- (3) 評議員会を1回開催する。臨時に審議が発生した時には、臨時評議員会を開催する。
 - ① 第1回 6月 定時評議員会 決算書の議決、役員を選任
- (4) 評議員選任解任委員会を開き随時評議員の見直しを行う。

5. 本年度事業

5-1 法人全体

本年度は菊水ビラ開所の年となり、特養入所者が50名から79名に増加し入所待の利用者に支援を広げることができるようになる。

当面は菊水ビラの安定的な運営を続けられるよう努力する。

- (1) 菊水ビラの職員配置がゆとりをもってできるよう新規職員の採用に努める。
- (2) 上記に関し菊水ビラの職員確保のため以下の事業の縮小を行う。
 - ① 菊水園ショートステイ事業の縮小。定員9から3名へ
 - ② 菊水園通所事業の縮小。定員35名から25名へ
 - ③ 菊水園通所事業の営業日を週6日から5日へ
 - ④ 菊水園通所介護予防事業の廃止
- (3) 菊水神郷デイサービス事業は能登川地区の高齢者人口の拡大が見込まれるので知名度のアップ、稼働率の上昇に努める。
- (4) 介護人材確保の一環として、介護職員処遇改善交付金をフルに受取、職員の年間収入アップに努めるとともに労働環境の改善につとめる。
 - ① よりわかりやすくするため介護職員の基本給を一律2万円引き上げる。
 - ② 今まで賞与支給時に出していた処遇改善交付金は引き下げる。
 - ③ 非常勤介護職員の時給単価を引き上げる。ただし通所介護の介護職員の時給は据え置きとする。

5-2 指定介護老人福祉施設 菊水園

- (1) 介護職員の負担軽減、環境整備のため手動式ベットから電動ベットに19台入れ替える。

恵泉会

- (2) 腰痛防止のために介護アシストロボットを数台導入を検討する。
- (3) 利用者の見守り介護作業軽減のためインターネットカメラの導入を行い利用の仕方を検討する。
- (4) 重度認知症高齢者の介護手法の確立に努め、認知症介護の外部研修参加の充実を図る。
- (5) 感染症予防対策の充実
新型コロナウイルスの施設内への侵入防止に努める。
- (6) 地域の医療施設との連携を強化する。
施設で終末期を迎える入居者の対応に関し医師との連携を密にする。
- (7) 昨年は軽微ではあるが事故が多かったので、事故の起きる状態の検証のためIPカメラの映像解析し、介護手法の改善を行う。
- (8) ショート減床のため4人部屋3室を2人部屋とし、ゆとりのある居室を提供する。また室料のアップを検討する。

5-3 短期入所生活介護事業所 菊水園ショートステイセンター

- (1) 利用者定員を9名から3名とする。
- (2) 3室はすべて個室とし、感染症対策にも万全を期す。

5-4 通所介護事業所 菊水園 デイ サービスセンター

- (1) 菊水ビラへ職員を配置するため利用者定員を35名から25名とする。
- (2) 稼働日は月曜から金曜日の5日とし、土曜日のサービス提供を辞める。

5-5 予防通所介護事業

菊水ビラへ職員を配置するため廃止とする。

5-6 地域密着通所介護事業 菊水神郷デイサービスセンター

- (1) 本事業所は地域密着型として3年目を迎え、スタッフの組み替えにより稼働率が上昇してきている。本年度は週4日の稼働を5日にアツプするよう努力する。
- (2) 介護サービスは認知症予防、生活リハなどに力を入れ介護度の改善努力をする

5-7 地域密着特別養護老人ホーム 菊水ビラ

- (1) 職員が新しい施設に慣れて十分に入所者にサービスを提供できるようにする。
- (2) 全室個室、10室ごとのユニットケアのシステムに慣れるようにする。
- (3) 菊水園と違い個人・プライバシー重視のケアとなり、利用者の転倒事故防止を最優先とする。

恵泉会

- (4) ビラの運営委員会を立ち上げ月1回の会合を行う。
- (5) 年の後半には地域交流スペース「カフェ菊水」を活用したイベントを行う。

5-8 その他の事業（地域貢献事業）

- (1) 地域福祉の一環として独居老人の配食、見守りサービスを引き続き行う
- (2) 紙おむつ販売事業を引き続きおこなう。

5-9 職員研修及び福利厚生

- (1) 園内外研修
 - ① テーマ別、グループ別に計画的に職員を研修に派遣する。
 - ② 新人職員の介護基礎研修に集中する。
 - ③ 経営センスのある中堅職員の育成をはかる。
- (2) 資格取得と福利厚生
 - ① 目標管理制度の充実を図る。
 - ② 会話および意思疎通の能力の低い職員が多い傾向にあるので、意見発表の場を設ける。
 - ③ 職員厚生会を通じての職員旅行を『心のリフレッシュ旅行』と位置づけ、法人として助成を行い燃え尽き症候群防止に役立てる。
- (3) 職員のメンタルストレスケアに注目し管理職がその手法を研鑽し、各職員の動向を注意し、対応していく。
- (4) 1. 5～3歳までの子供を持つ職員が増えているので離職対策として、菊水ビラ内に保育スペースを設けたので職員間で利用法を検討し、利用するようにする。

5-10 地域福祉

社会福祉法人の基本的な活動である次の福祉活動に注力する。

- (1) 利用者家族や地域との連携強化に努め、年2回の行事に家族の参加を求め、利用者家族の諸問題解決に当たる。また出来るだけご家族に介護保険情報の提供、社会福祉法人の特別減免制度の再認識をしていただく。
- (2) 地域福祉ニーズの把握に努めるとともに、積極的に施設からの情報発信に努める。
- (3) ボランティアや施設来園者を積極的に受け入れ、施設の社会化を推進する。
- (4) 広報誌の発行が行われていなかったが再開し地域に施設の状況を発信していく。

恵泉会

(5) 地域への働きかけ強化

子ども110番事業を引き続き参画し地域の子育て支援の一助を担う。

(6) 地域密着社会福祉事業

菊水ビラの地域交流スペースカフェ菊水の活用方法を模索する。

6. 法人としての重点目標

- 1) 菊水ビラのスムーズな立ち上げ。
- 2) ショート、デイサービスのスムーズな縮小。
- 3) 積極的な求人活動による介護職員の充実。
- 4) 人材確保のための施策として、2019年から順次中途採用を行うとともに、新規卒業生に関しても内定を入れアルバイトなどで事前に来てもらいトレーニングする。正規職員3名増、準職員7名増の予定

7. 経営及び財務

令和1年度の決算から短期入所事業縮小、デイサービス縮小、菊水ビラは想定年間収入の3分の2と想定して予算を組む。

支出は人件費の上昇がポイントであるが20%以内に抑える。

7-1 介護保険施設（特養）菊水園の収入

令和1年並みとする。

7-2 短期入所生活介護の収入

令和1年の三分の一とする。

7-3 通所介護の収入

令和1年の補正予算の1500万円減とする。

7-4 地域密着通所介護事業（神郷）予防含む

2000万円を目標とする。

7-5 地域密着特養 菊水ビラの収入（年間）

下記予定で年間稼働率70%とし9450万円目標

- 1) 4、5月で1ユニット10名入所予定
- 2) 6月で1ユニット9名入所予定
- 3) 7、8月で1入ユニット10名入所予定

7-6 人件費支出（年間）

1) 従来菊水園分	12000万円
2) 短期入所	3000万円
3) 菊水デイ	3000万円

恵泉会

- | | | | |
|----|--------------------|--------|----|
| 4) | 神郷菊水デイ | 1300万円 | |
| 5) | 新規菊水ビラ | 6000万円 | |
| 6) | 増員及び減員職員は以下のとおり。 | | |
| ① | 令和2年4月1日入社確定新卒介護職員 | | 1名 |
| ② | 令和2年4月1日入社管理栄養士 | | 1名 |
| ③ | 令和1年中途採用介護職 | | 2名 |
| ④ | 夜勤専従介護パート採用 | | 1名 |
| ⑤ | 産休復帰 パート | | 1名 |
| ⑥ | 令和1年度退職者 | 正職 | 3名 |
| | | 嘱託 | 1名 |
| | | パート | 4名 |

7-8 事務費及び事業費支出

以下のものが増額予定とする。

- ①水光熱費
- ②給食費
- ③介護用品費